

# 鳥取ループ・示現舎に対する抗議申し入れ書

私たち部落解放同盟全国連合会長野県連合会は、6月に開催した第15回県連大会において、下記の通り鳥取ループ・示現舎に対する糾弾決議を可決した。

## 差別者鳥取ループ・示現舎とたたかう決議

今年2月、インターネット上で、鳥取ループ・示現舎なる差別組織が自らのホームページで、「復刻版・全国部落調査・部落地名総監の原典」と称する書籍の発行・販売を予告し、アマゾンが予約注文を開始するという情報を掲載しました。さらに、発行・販売は四月一日であると予告しました。

また書籍とは別に、「同和地区wiki」と称するサイトをネット上に開設し、「部落地名総監」がいつでも、誰でもみられる状態にしていました。

その内容は、全国5360ヶ所以上の被差別部落の地名（昔の地名と現在の地名）、その地区に多い苗字、戸数、人口、主な職業、「中、下」など生活程度を一覧して掲載し、さらには解同本部派や、全国連の中央役員の氏名、電話番号（本部事務所のもの）までもが掲載されているものです。

本部派は書籍発行・販売禁止の仮処分申請を行い、3月28日、横浜地裁は同書籍についての「出版・販売を禁止する」仮処分を決定しました。しかし、鳥取ループ・示現舎は、その腹いせに、本部派が出した裁判資料（「全国部落調査」のコピーを含む）をネット上のヤフーオークションにかけるという暴挙を行いました。この報に全国連を含む全国からの抗議、糾弾に対して、鳥取ループ・示現舎は、「これは表現の自由だ」と開き直り、今も差別を煽り続けているのです。部落差別をするのが、表現の自由なのか！

私たちは、この差別者鳥取ループ・示現舎を絶対に許しません。部落大衆の怒りを結集して差別糾弾闘争で社会的に抹殺するまでたたくか抜きましょう。

右、決議する。

2016年6月12日

部落解放同盟全国連合会長野県連合会第15回定期大会参加者一同

これが、差別者鳥取ループに対する私たちの回答である。

長野では、結婚差別によって部落青年M君が自殺に追いこまれる事件が8年前に発生した。幸いM君の母親がすぐに発見したため、死には到らなかったが、部落差別によって一人の青年が「殺された」のである。M君と結婚した一般民女性Yは、出産を理由に部落の家から出たまま実家に帰ってしまった。一切理由を告げず、一方的に離婚調停を申し出たのである。

YはA地区が部落であることを知っていたから、家を出て行ってしまったのである。夫であるM君を自殺未遂に追いこんだのである。鳥取ループが発行・販売を目論んでいる『部落地名総鑑』は、第2、第3のM君を生み出す「殺人凶器」となるものなのだ。部落民を殺したいのか！ふざけるんじゃない！

あるいは、同じく長野市内で差別発言・暴行傷害事件も発生し、今年3月に暴行傷害事件について長野地裁から有罪判決が出された。この事件は、差別者KがAさんに対し「チョーリッポ」「ヨツ」「畜生」「人間じゃねえ」などと差別発言を2年前から日常的に執拗にくり返し、自分の小学生の孫にまで差別発言をさせていた。いたたまれなくなってきたAさんが市役所や警察、法務局などに相談するかたわら、Kの差別発言の様子を記録としてスマートフォンで撮影をしていた。これにたいしてKがAさんの奥さんの腕をねじ上げ足蹴りにして暴行をしたものである。長野地裁の判決では「差別発言である」と認定した上で、暴行事件を有罪にした。

また6月末には、善光寺大勧進の小松貫主(天台宗最高責任者)による部落差別発言が明らかになった。セクハラをくり返したあげく、抗議した女性職員に対して差別暴言を吐いたのである。仏教宗派の最高位の僧が、差別発言をしているのだ。

鳥取ループがやっている事は、こうした差別者を次々と生みだし、部落民を襲撃することをあおり立てる行為である。鳥取ループが言う「タブー視しない」というのは、どんどん差別をしまくれ!ということではないか。それによってどれだけの部落民が傷つき、あるいは「自殺」にまでおいこまれるのか。部落差別は部落民に対する殺人行為以外の何ものでもないのだ。絶対に許さない。

私たちは怒りを込めて申し入れる。直ちに殺人行為をやめよ。いっさいの差別行為を謝罪し、鳥取ループ・示現舎を解散せよ。

2016年7月11日

〒382-0045

長野県須坂市井上2066-6

部落解放同盟全国連合会  
長野県連合会  
執行委員長 小森 勝重

## 糾弾状

私たち部落解放同盟全国連合会広島支部は、示現舎による被差別部落にかんするすべての書籍の発刊またウェブによる情報公開を断じて許すことができない。それらはすべて差別を助長、扇動するものである。横浜地裁の仮処分をなぜ理解できないのか。ただちにすべての発刊物の中止そして回収、ウェブの閉鎖をただちにおこなえ。

あなたは差別者だ。

いま、この状況を起こした者として、恥ずかしくないのか。人としてのプライドはないのか。

あなたにとって、部落差別の現実をどう考えているのか。

差別は人をも殺す凶器そのものだ。

部落出身者かどうか、身元調査で使われていたのが「部落地名総監」である。

それによる就職差別、結婚差別…あらゆる差別の結果、どれだけの人間関係が引き裂かれ、心や命までも奪われてきたことか。あなたはそれを理解したことがあるのか。

そしていまなお示現舎は、「同和地区Wiki」なるウェブサイトを通じて「部落地名総監」を開示している。これまでの部落差別を受けた人たちの耐えがたい苦悩を無視し、すべての部落民を見下し、部落差別を助長していることに他ならない。断固糾弾をつきつけ、謝罪を求める。

わたしたちの地元、広島市福島地区の住民に示現舎の実態を伝えると、「恐ろしい」「ぜったいに許せない」との声が飛び交っている。

福島地区は西日本のなかでも有数の広さを持つ被差別部落である。広島での水平社の誕生、太田川放水路の反対闘争、被爆からの復興、そして改良住宅建設をめぐる座り込みなど、差別や貧困など逆境と真正面から対峙し生きる権利を団結と行動でたたかいとってきた町である。在日朝鮮・韓国人も多く暮らしている。その懸命にいきぬいてきた一人ひとりの生きざまや歴史から学び、差別をゆるさない社会をともに実現することこそ、部落との向き合い方ではないだろうか。

示現舎のとっている態度は、差別を無理やり正当化しているヘイトスピーチとまったく同じだ。

いまの固執的で人間関係の希薄な社会の波に、完全にのみこまれている。

いまいちど、「人の痛みを理解する心」を持つべきだ。

差別されてきた部落や在日の心をおとしめる表現の一切をとりやめよ。

## 鳥取ループ・示現舎への糾弾状

部落解放同盟全国連合会 中央青年対策部

我々、全国連に結集する青年および青年対策部員は「鳥取ループ・示現舎」なるものによる極悪の差別事件を許さない。新たな「部落地名総鑑」である「復刻 全国部落調査」を拡散し、また、ぼろ儲けをしようとしたこの醜い差別者を徹底的に糾弾するものである。そしてこのような輩を追放し、拡散されているものを含め一掃するまで断固闘うことを宣言する。

「部落解放協議会」「個人の同和マニア」「趣味で同和を研究」だと？ 「同和はタブーと思いこんでいる人をおちょくるため」「40年前の地名総鑑の時は解同にみんな頭をさげてしまい・・・それを今回破るため」だと？ ほざくな！

我が全国連中央本部が糾弾状をもって事実経過を含めて指摘し喝破したように、その意図と犯罪性は既に明らかとなっている。もはや多くを語るまでもない。直ちに悔い改め、己の行っている部落差別行為を自己批判せよ！ 全国の部落民・兄弟姉妹に謝罪せよ！

2016年7月17日

「鳥取ループ・示現舎」による部落差別を徹底糾弾する！

部落解放同盟全国連合会

大阪・寝屋川支部

「鳥取ループ・示現舎」による新たな「部落地名総監」差別事件を、寝屋川支部は徹底糾弾する！

「部落地名総監」はそもそも、就職や結婚における身元調査のために作成・発行されたものである。その部落差別をばらまく目的で発行されたものを「復刻」し拡散することなど断じて許されない！

貴殿は、「とある鳥取県東部出身者」等と自称している。あたかも、自身が部落出身者のように言っているが、仮に部落民であっても許されることと許されないことがある。

石川一雄さんは国家権力によるでっち上げ事件で、無実の罪で50年以上もの長きにわたって「犯罪者」扱いを受けている。こんなことが許せるか！それだけではない！ 昨年、大阪・京都・兵庫では、同和住宅をはじめ皮革業者など39カ所、1850枚におよぶ大量の差別文書ばらまき事件が引き起こされている。これらの現実をどう思うのか？ このさなかに貴殿が行った行為は何を意味するのか！ なんと卑劣な輩か！

ただただ部落差別をばらまくことを目的にうごめく「鳥取ループ・示現舎」など許されない！

貴殿が行った差別的暴挙について謝罪せよ！ 自己批判せよ！ 寝屋川支部は、心ある労働者人民とともに「復刻版」の絶版、ネットからも永久完全削除までトコトンたたかうぞ！